

海外果樹農業情報 No. 175

2025-4

# 世界の主要果実の生産・貿易概況

## 2025 年版

2026年1月

公益財団法人 中央果実協会  
[JAPAN FRUIT ASSOCIATION]

本書の内容について、ご質問やお気づきの点がありましたら、  
下記あてにご連絡下さるようお願いいたします。

**公益財団法人 中央果実協会 情報部**

〒100-0011 千代田区内幸町1-2-1 日土地内幸町ビル2階

【電 話】03-6910-2922 (代)

【F A X】03-6910-2923

## 序 文

果樹農業を取り巻く国際化の進展に伴い、我が国の果樹産業は外国産果実及びその加工品等との競争が激化しており、一方で果実の輸出促進の努力が行われています。このような我が国の果樹産業を取り巻く環境の変化に対応して、当協会では関係機関・団体等からの海外果樹関係の情報ニーズを踏まえ、農林水産省補助事業である果樹農業生産力増強総合対策の調査研究等事業の一環として、海外における果実及びその加工品等の生産・流通事情等に関する情報の収集・提供を行うことにより、我が国果樹産業の振興・活性化並びに果実の需給と価格の安定及び輸出の振興に資することとしています。

その取り組みの一つとして、果樹全般についてのFAO(国連食糧農業機関)の生産統計をもとに、世界の果実生産の状況についてデータを取りまとめて刊行してきました。また2021年度からはこれに加え、FAOと日本の財務省が公表した貿易統計のデータについて取りまとめることとしました。

この度は2024年までのFAOの生産統計と貿易統計を昨年と同様に一括して刊行することといたしました。また、引き続き貿易統計のとりまとめ対象に一部の果実加工品を含めました。

なお、本書のpdf版とExcel版は当協会のウェブサイトに掲載しております。

本書が関係者の間で世界の果樹事情についてのデータブックとして活用され、我が国果樹産業の国際化対応のために少しでもお役に立てば幸いです。

2026年1月

公益財団法人 中央果実協会

理事長 村上秀徳

## 目 次

### 序文

世界の生産統計	1
1. 全果実 (品目別)	2
2. 全果実 (地域・国別)	4
3. 柑橘類計	6
4. オレンジ	8
5. レモン・ライム	10
6. ポメロ・グレープフルーツ	12
7. タンジェリン・マンダリン・クレメンタイン	14
8. その他の柑橘類	16
9. リンゴ	18
10. ナシ	20
11. モモ・ネクタリン	22
12. サクランボ (甘果オウトウ)	24
13. スモモ	26
14. ブドウ (食用及び醸造用)	28
15. カキ	30
16. イチジク	30
17. パインアップル	32
18. クリ	34
19. ブルーベリー	34
20. ラズベリー	36
21. クランベリー	36
22. マンゴー・グアバ・マンゴスチン	38
23. バナナ (プランテイン (料理用バナナ) を含まない)	40
24. パパイヤ	42
25. アボカド	44
26. キウイフルーツ	46
世界の貿易統計 (輸出)	49
1. 全果実 (品目別)	50
2. 全果実 (地域・国別)	52
3. オレンジ	54
4. レモン・ライム	56
5. ポメロ・グレープフルーツ	58
6. タンジェリン・マンダリン・クレメンタイン	60
7. リンゴ	62
8. ナシ	64
9. モモ・ネクタリン	66
10. サクランボ (甘果オウトウ)	68
11. スモモ	70
12. ブドウ	72
13. カキ	74
14. パインアップル	76
15. クリ	78
16. ブルーベリー	78
17. クランベリー	80
18. ラズベリー	80
19. マンゴー・グアバ・マンゴスチン	82
20. バナナ (プランテイン (料理用バナナ) を含まない)	84
21. パパイヤ	86
22. アボカド	88
23. キウイフルーツ	90

2 4. 干しへドウ	92
2 5. パインアップル調製品	94
2 6. オレンジ果汁（非濃縮）	96
2 7. オレンジ果汁（濃縮）	98
2 8. リンゴ果汁（非濃縮）	100
2 9. リンゴ果汁（濃縮）	102
3 0. ブドウ果汁	104
世界の貿易統計（輸入）	107
1. 全果実（品目別）	108
2. 全果実（地域・国別）	110
3. オレンジ	112
4. レモン・ライム	114
5. ポメロ・グレープフルーツ	116
6. タンジェリン・マンダリン・クレメンタイン	118
7. リンゴ	120
8. ナシ	122
9. モモ・ネクタリン	124
1 0. サクランボ（甘果オウトウ）	126
1 1. スモモ	128
1 2. ブドウ	130
1 3. カキ	132
1 4. パインアップル	134
1 5. クリ	136
1 6. ブルーベリー	138
1 7. クランベリー	140
1 8. ラズベリー	140
1 9. マンゴー・グアバ・マンゴスチン	142
2 0. バナナ（プランテイン（料理用バナナ）を含まない）	144
2 1. パパイヤ	146
2 2. アボカド	148
2 3. キウイフルーツ	150
2 4. 干しへドウ	152
2 5. パインアップル調製品	154
2 6. オレンジ果汁（非濃縮）	156
2 7. オレンジ果汁（濃縮）	158
2 8. リンゴ（非濃縮）	160
2 9. リンゴ果汁（濃縮）	162
3 0. ブドウ果汁	164

## (ご利用にあたって)

1. 本資料は、国連食糧農業機関(FAO)の統計データベース(FAOSTAT)に掲載されている作物生産統計(<https://www.fao.org/faostat/en/#data/QCL> 2025年12月31日更新)及び貿易統計(<https://www.fao.org/faostat/en/#data/TCL> 2025年12月23日更新)に基づいて作成した。ただし、生産統計の生産量指標は生産量から、貿易統計の単価は貿易額及び貿易量から算出した。

なお、FAOのデータは、一部の国のデータ整備の進展等に伴い過去のデータも含めて随時見直しが行われるため、閲覧日によって数値が異なることに留意する必要がある。

2. 掲載品目は、世界の生産量または貿易額が大きいものを基本とし、日本の輸出入額を勘案して選定した。

3. 各品目について、FAOSTATの地域区分(「アメリカ」は北米と中南米に分割した)ごとに、原則として直近年の生産量または輸出入額の多い国を掲載し、その他の国は省略した。ただし、品目により、過去の数値が大きい国を含むことがある。

なお、日本についてはデータ(0を除く)があるすべての品目について掲載し、日本より生産量または貿易額の多い他の国を省略した場合は国名を(日本)とし、その行の上に破線を引いた。また、日本については、必要な範囲で小数点以下の数値を表示した。

生産量または貿易額が2019年から2024年のすべての年で表示単位(千トンまたは百万米ドル)に満たないか同期間のデータが全くない地域は、地域ごと省略した。

4. FAOSTATの「全果実」には、果実的野菜であるイチゴ、スイカ、メロンを含み、クリ(ナツツ類に分類されている)を含まない。また、貿易統計の「全果実」には果実加工品を含む。

5. データは各国の公式データ、FAOの推定値等で構成されているが、それらの区別の表示は省略した。なお、輸出には輸入品の再輸出も含まれる。

6. 視認性を高めるため、右端の列に品目名、地域・国名の全部、一部または略称を記すとともに、表示する果実の種類が多い果実グループ及び国数が多い地域については5行ごとに区切りの横線を入れた。

7. 以下の数字、記号は次の意味で用いた。

0 : データはあるが、それが0であるか、または表示単位で四捨五入した値が0である。

– : データがない。(または計算できない。)

なお、当協会のウェブサイト(<https://www.japanfruit.jp/research/overseas.html>)に掲載するExcel版では、表示が0の場合を含め、小数点以下の数値を保持している。

## 海外果樹農業情報 刊行物一覧

No.	調査報告書名	発行年月
115	台湾における日本産果実の流通状況等実態調査報告書	12. 6
116	中国におけるブドウの生産・流通・消費調査報告書	12. 10
117	韓国とのFTA締結による韓国果樹産業への影響等調査報告書	12. 11
118	台湾における東日本大震災後の日本産果実等流通状況実態調査報告書	13. 3
119	中国におけるモモの生産・流通・消費調査報告書	13. 3
120	世界の主要果実の生産概況 2013年版	13. 10
121	台湾における日本産果実の流通状況及び輸入に関する規制等に係る調査報告書	14. 3
122	世界の主要果実の貿易概況 2013年版	14. 3
123	世界の主要果実の生産概況 2014年版	14. 10
124	世界の主要果実の生産概況 2015年版	15. 3
125	台湾における日本産果実の流通及び輸入促進に向けた諸課題に係る調査	15. 3
126	ニュージーランドの果樹農業及び香港の日本食品・果実事情調査報告書	15. 8
127	海外の果樹産業ニュース 2015年度版	16. 3
128	台湾における日本産食品の輸入規制強化とともに日本産果実の流通への影響に係る調査報告書	16. 3
129	海外の果樹産業ニュース 2016年度上期版	16. 10
130	世界の主要果実の生産概況 2016年版	17. 2
131	海外の果樹産業ニュース 2016年度下期版	17. 3
132	台湾における日本産果実の流通状況及び輸入促進に向けた諸課題に係る調査	17. 3
133	海外の果樹産業ニュース 2017年度上期版	17. 9
134	世界の主要果実の生産概況 2017年版	18. 2
135	世界の果樹産業ニュース 2017年度下期版	18. 3
136	台湾における日本産果実の流通・消費の状況及び輸入促進に向けた諸課題に係る調査	18. 3
137	海外の果樹産業ニュース 2018年度上期版	18. 10
138	世界の主要果実の生産概況 2018年版	19. 2
139	海外の果樹産業ニュース 2018年度下期版	19. 3
140	米国ワシントン州のりんご生産の現状と省力・機械化技術に関する調査報告書	19. 3
141	海外の果樹産業ニュース 2019年度上期版	19. 10
142	欧州及びイタリアの果樹農業の現状とスマート農業に関する調査報告書	20. 3
143	海外の果樹産業ニュース 2019年度下期版	20. 3
144	世界の主要果実の生産概況 2019年版	20. 3
145	海外の果樹産業ニュース 2020年度上期版	20. 9
146	世界の主要果実の生産概況 2020年版	21. 3
147	海外の果樹産業ニュース 2020年度下期版	21. 3
148	世界の醸造用ぶどう栽培の動向 気候変動対応と持続可能性の取組	21. 3
149	世界の主要果実の貿易概況 2021年版	21. 5
150	海外の果樹産業ニュース 2021年度上期版	21. 9
151	世界の主要果実の生産概況 2021年版	22. 3
152	海外の果樹産業ニュース 2021年度下期版	22. 3
153	世界の生食用ぶどう産業 品種動向と栽培流通技術	22. 3
154	世界の主要果実の貿易概況 2022年版	22. 5
155	海外の果樹産業ニュース 2022年度上期版	22. 9
156	海外の果樹産業ニュース 2022年度下期版	23. 3
157	世界のもも産業 生産・消費動向と栽培流通技術	23. 3
158	世界の主要果実の生産・貿易概況 2022年版	23. 3
159	日本の果実の貿易概況 2022年版	23. 4
160	海外の果樹産業ニュース 2023年度上期版	23. 7
161	海外の果樹産業ニュース 2023年度中期版	23. 11
162	世界の主要果実の生産・貿易概況 2023年版	24. 1
163	世界のおうとう産業 生産・流通の現状と品種・栽培流通技術	24. 3
164	新型コロナウイルス禍の世界の果樹農業 生産流通消費への影響と今後の対応	24. 3
165	海外の果樹産業ニュース 2023年度下期版	24. 3
166	日本の果実の貿易概況 2023年版	24. 4
167	海外の果樹産業ニュース 2024年度上期版	24. 7
168	海外の果樹産業ニュース 2024年度中期版	24. 11
169	世界の主要果実の生産・貿易概況 2024年版	25. 1
170	世界のカンキツ産業 生産流通の現状と栽培流通技術	25. 3
171	海外の果樹産業ニュース 2024年度下期版	25. 3
172	日本の果実の貿易概況 2024年版	25. 4
173	海外の果樹産業ニュース 2025年度上期版	25. 7
174	海外の果樹産業ニュース 2025年度中期版	25. 11

